

精米事業者のとう精数量実績調査結果（とう精数量）について

○ 精米事業者による令和7年7月～令和8年1月のとう精数量は、前年（令和6/7年）の同期と比べ、減少（対前年差▲11.6万玄米トン、対前年比94.1%）。

○ とう精数量の推移

（千玄米トン）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年計	7～1月計	対前年同期差	対前年同期比	対3カ年平均同期差	対3カ年平均同期比
令和4/5年	272.7	280.1	280.3	278.6	270.0	290.1	252.9	260.8	290.3	291.2	291.0	289.7	3,347.7	1,924.7	—	—	—	—
令和5/6年	282.5	291.5	285.3	288.9	278.8	299.8	268.1	279.7	295.9	310.1	302.8	293.8	3,477.3	1,994.9	+70.2	103.6%	—	—
令和6/7年 （備蓄米除く）	301.7 (301.7)	308.3 (308.3)	278.9 (278.9)	278.7 (278.7)	268.9 (268.9)	287.2 (287.2)	261.7 (261.7)	258.5 (258.5)	271.0 (271.0)	303.1 (271.8)	288.6 (235.7)	291.5 (202.4)	3,398.0 (3,224.7)	1,985.3 (1,985.3)	▲9.6 (▲9.6)	99.5% (99.5%)	—	—
3カ年平均	285.6	293.3	281.5	282.1	272.6	292.4	260.9	266.3	285.7	301.5	294.1	291.7	3,407.6	1,968.3	—	—	—	—
令和7/8年 （備蓄米除く）	305.6 (206.9)	271.8 (211.0)	263.0 (233.1)	277.7 (256.1)	243.3 (230.8)	268.4 (260.9)	239.2 (233.0)						— —	1,869.0 (1,631.8)	▲116.3 (▲353.5)	94.1% (82.2%)	▲99.3 (—)	95.0% (—)

注1：とう精数量は、398の精米事業者の実績を集計した速報値。

注2：とう精数量は、玄米投入量である。

（千玄米トン）

とう精数量の推移

